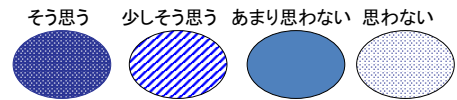


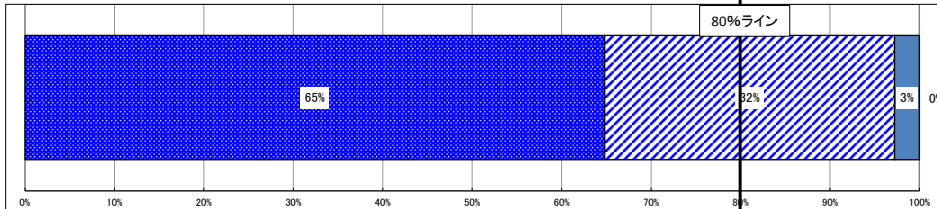
令和元年度（2019年度） 学校評価に関わる児童アンケート集計結果と分析 横須賀市立豊島小学校

<実施日> 令和元年（2019年）9月24日～9月27日
 <対象> 横須賀市立豊島小学校児童（1年～6年）
 <回収状況>

	児童数	回収数	回収率
1年	40	38	95%
2年	50	46	92%
3年	42	38	90%
4年	44	35	80%
5年	44	30	68%
6年	34	30	88%
全体	254	217	85%

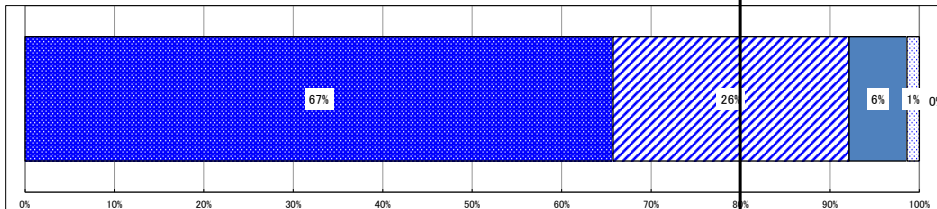


1 いつもきまりを守り、安全に気をつけて行動している。



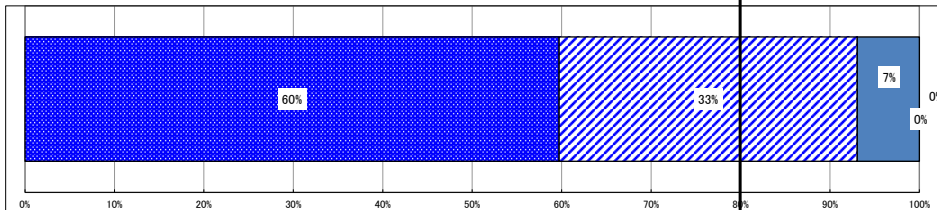
プラス評価（「そう思う」と「少しそう思う」）は97%と昨年同様の高い評価です。また「そう思う」が5ポイント増え65%です。「そう思う」と言える児童が少しずつでも増えていけば、よりよい集団へと成長していくと思います。学校では、きまりだから守るのではなく、その場その場でどう行動したらいいかを「自分で考えることができる」ことが大切だと考え、ことあるごとに伝えています。

2 火事や地震が起きたり、不審者が現れたりしたときの避難の方法が分かる。



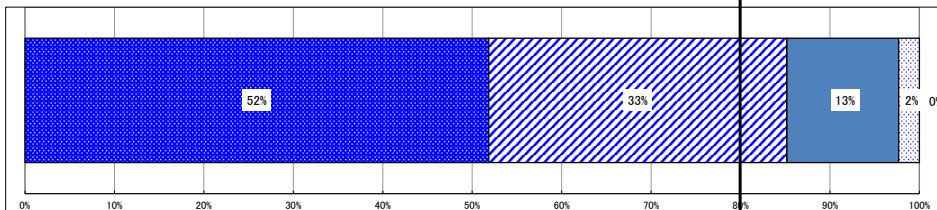
今年新たに設けた質問です。プラス評価は9割以上。また、7割近くの子どもが「そう思う」と答えています。火事や地震は、いつどこで起きるか分かりません。休み時間や登下校途中で起きるかも知れません。自分で考えて自分の身を守ることができるように毎年訓練を重ねています。

3 授業のはじまり、そうじのはじまりなどに遅れないようにしている。



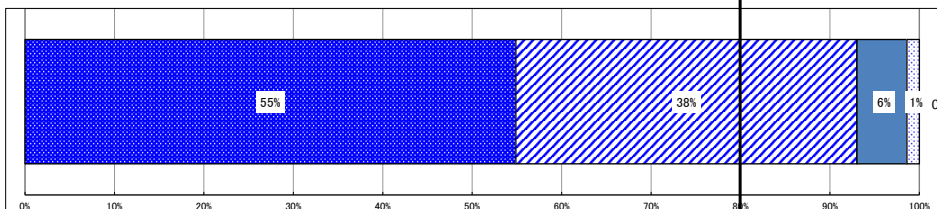
プラス評価全体は昨年と同じ93%ですが、「そう思う」と答えた児童は7ポイント減りました。チャイムが鳴ったらすぐに遊びをやめたり、授業前に着席したりすることは「みんなで」守ることで達成できることです。気持ちはあっても遅れてしまう現状もあります。これからも正しい選択のできる集団であるために、互いに声を掛け合うよう促していきます。

4 進んで、整理整頓をしたりそうじをしたり学校をきれいにしようとしている。



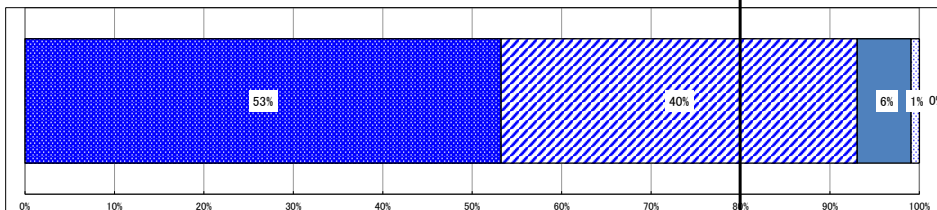
今年は、質問の初めに「進んで」という言葉を入れました。そのためかプラス評価は昨年より8ポイント減っていますが、8割を超える子どもたちは普段から心掛けているようです。自分たちが使う場所をきれいにしようとする気持ちをもち一生けん命そうじに取り組む子どももいます。できることを進んで行い仲間と協力して活動することが大切です。

5 あきらめずに、最後までがんばることができる。



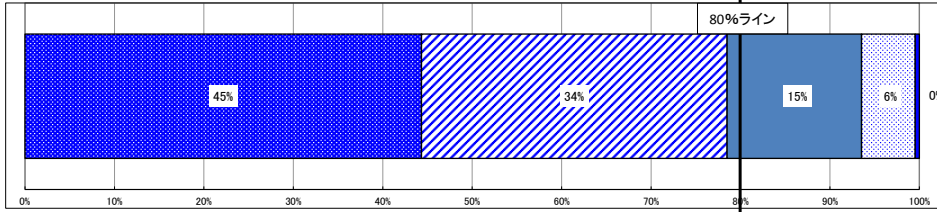
「そう思う」が5ポイント増え、プラス評価は93%の高い評価です。豊島小では昨年度から「認め合える児童の育成」を目指して研究をし、日常生活や授業の中で様々な実践をしています。お互いの良さを伝えあったり自分の成長を振り返ったりすれば、自分の良さが分かります。そのことは、自分を信じ、あきらめずにがんばることにつながると考えます。

6 先生や友だちの話をよく聞いている。



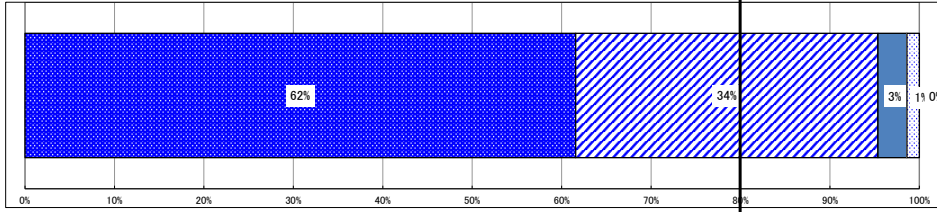
「そう思う」は昨年より5ポイント減りましたが、プラス評価全体は少しですが増えています。学力を高めるためにも、円滑な人間関係を構築するためにも聞く力が何より大切です。相手の言いたいことを理解しようとする力をつけていきたいです。しっかり話を聞ける子が多くなると、集団としても話を聞く姿勢がとれるようになります。

7 自分で考えたことを、先生に話したり友達同士で話し合ったりノートなどに書いたりしている。



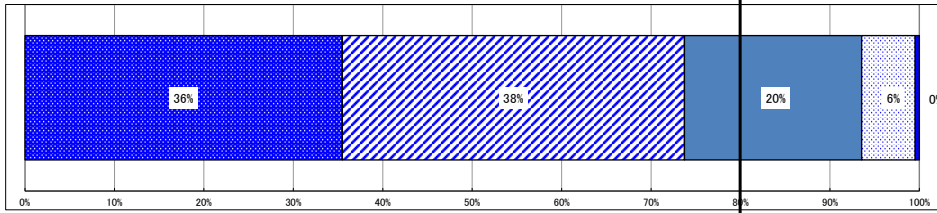
昨年よりプラス評価が減り8割を少し切ってしまいました。私たち教員も「話す力」「書く力」については、まだ十分ではないと考えています。これから毎日の授業で、少人数の仲間に話して伝える活動、クラス全体に話をして伝える活動、自分の考えを書く活動などに取り組んだり、授業内容の工夫をしつていきます。

8 授業で勉強していることがわかる。



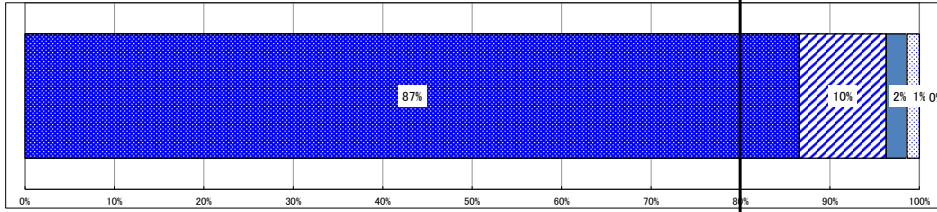
「そう思う」「少しそう思う」がそれぞれ少しずつ増え、プラス評価96%とたいへん高い評価になりました。学校では、授業改善や複数体制での指導等どの子どもにとっても分かりやすい授業を目指しています。さらに、個別の指導や習熟度に応じた指導の工夫などを今後検討していきたいと考えています。

9 早寝・早起きを心がけている。



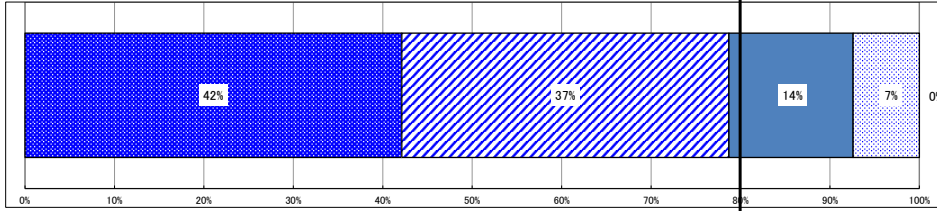
プラス評価は昨年より少し増えましたが、合格ラインの80%には達しませんでした。早く寝ることの大切さは子ども達も意識していると思いますが、メディアとの付き合い方の影響が大きいかと思います。ゲーム等の時間を決めるなど、ぜひ、ご家庭での工夫をお願いします。

10 毎日、朝食を食べている。



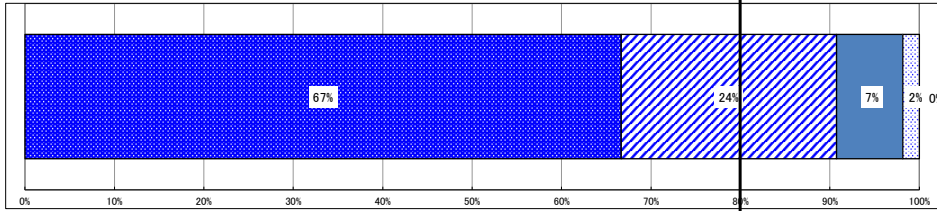
「そう思う」「少しそう思う」がそれぞれ少しずつ増え、プラス評価全体は97%と高い評価です。成長期の子ども達は、たとえしっかり食べてきたとしてもエネルギー切れを起こすこともあります。まして、食べていないとなると…とても心配です。朝食でエネルギーをしっかり補給することで、学習効果も上がります。学校で授業内容が理解できるようになると、楽しい学校生活につながります。

11 家に帰って、自分から勉強に取り組むことができる。



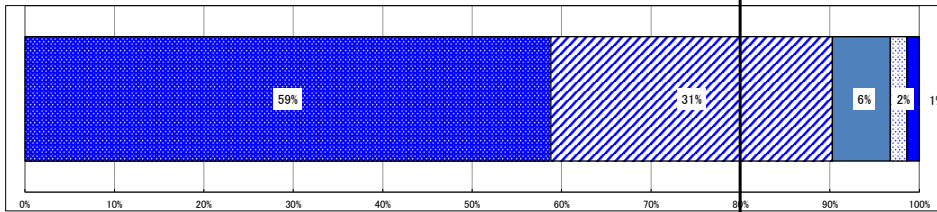
プラス評価が少し増えて、合格ラインまであと少しです。学校から出された宿題だけでなく、3年生からは子どもが自ら課題を設定する自主学習もあります。課題を決めるのが難しい場合は、お子さんの相談ののってあげてください。高学年に向けて、課題設定の力を身に付けしっかり取り組んでほしいと考えています。

12 じぶんからあいさつができる。



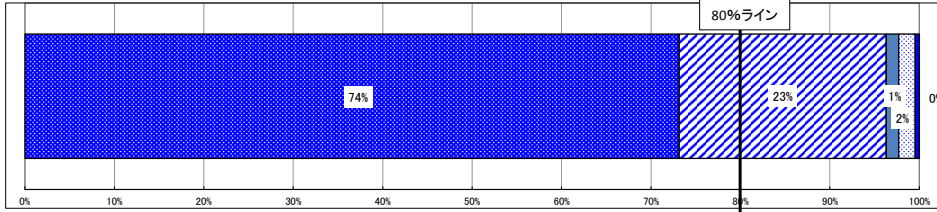
プラス評価全体は昨年と同様ですが、「そう思う」は6ポイント増えました。来校された方からも、子ども達がよくあいさつしてくれると言っています。家族、地域や学校でいつも顔を会わせている仲間や大人にも自分からあいさつできるよう、声かけを続けていきます。

13 相手が傷つくようなことを、言ったりしたりしないように気をつけている。



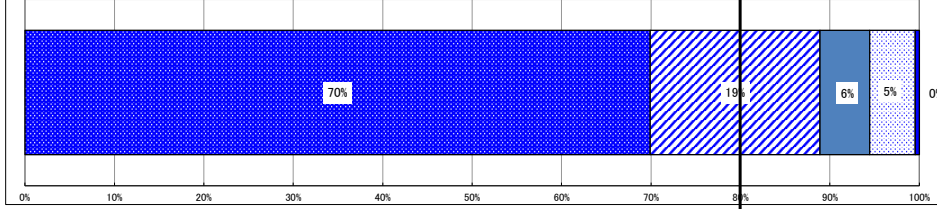
プラス評価は昨年とほぼ同様です。簡単に言ったりしたりしてしまう子どもも、言われたりされたときの嫌な思いを十分知っていると思います。「そう思う」と言える子ども達がぐっと増え、また、自分が言った言葉の持つ意味を考えることで、傷つける言葉や乱暴な言葉がそぐわないものとなり優しい集団へと成長していくて欲しいと思います。

14 学校生活の中で、友だちと協力しあっている。



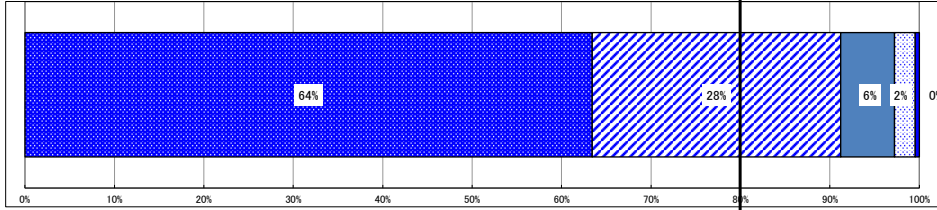
「そう思う」が昨年より7ポイント増えて74%になりました。「そう思う」は昨年も9ポイント増えています。この2年間で16ポイントも増えています。プラス評価全体も97%とたいへん高い評価です。子ども達は、係活動や当番活動、また、授業の中でグループ活動等に取り組んでいます。そのような日々の活動だけでなく、クラスや学年全体また、たてわり班で取り組む活動も毎年経験して、子どもたちの協調性が育まれ、また結びつきを深くすることができているのだと思います。

15 困った時に相談できる大人や友だちが学校の中にいる。



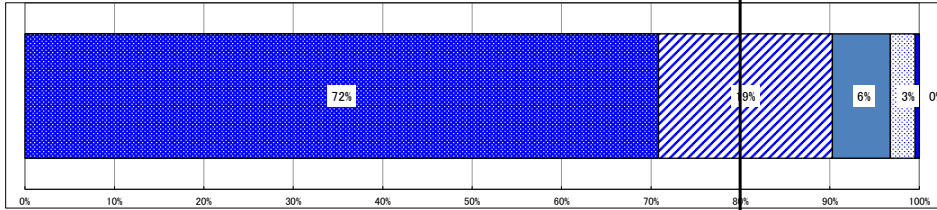
「そう思う」「少しそう思う」がそれぞれ微増して、プラス評価全体は5ポイント増えています。職員のだれもがいつでも相談を聞くつもりでいます。でも、子どもには声をかけるタイミングが難しいのかもしれない。今後も、子どもが声をかけやすい環境や関係作りに努めていきます。

16 たてわり活動



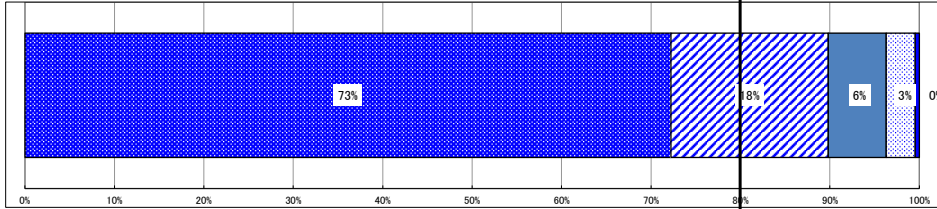
左のグラフは全校のもので。低学年では「たてわり活動は、楽しい。」という質問に対してプラス評価は91%、中学年では「たてわり活動に、協力している。」という質問に対してプラス評価は95%、高学年では「たてわり活動では、高学年としての役割を果たしている」プラス評価88%という結果になりました。これからも、学年に応じた達成感をもてるよう努めていきます。

17 先生は、学習のわからないところについてわかるように教えてくれる。



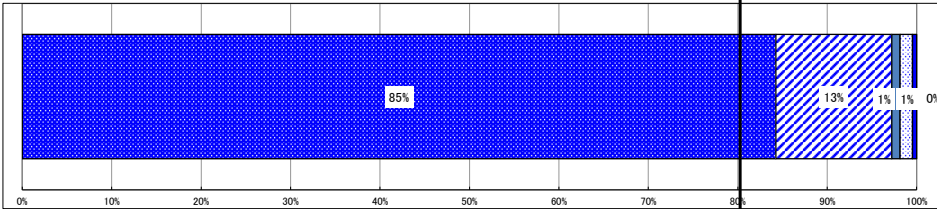
プラス評価全体は昨年と同様の91%です。今年度、算数のTT(メインの教師と個別に支援する教師の2人体制の授業やクラスを二つに分けての少人数授業)は行っていませんが、もともとのクラスの人数を少なくする体制にしています。友だちの考えを聞いて理解できるようにグループ学習を行ったり、振り返りカード等で子ども達の理解度を把握したりしています。

18 先生は、困ったときやいじめがおきたとき相談にのったり対応したりしてくれる。



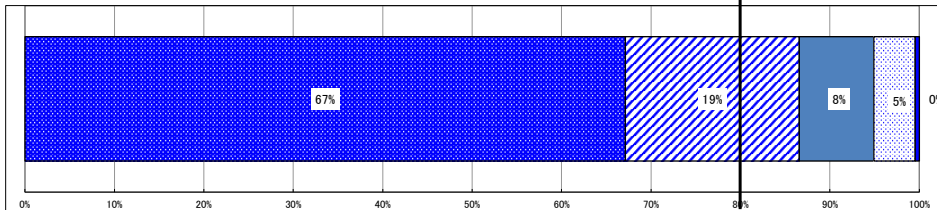
「そう思う」が昨年より9ポイント増えて73%となりました。たいへん、教師として励みになる結果です。児童間の問題がおきたときは、それぞれの子どもから話を聞くことが基本的な対応です。心が傷ついた子どもには、より丁寧な対応が必要になります。今後も、日頃から信頼関係を築き、問題を解決できるよう努めていきます。

19 クラスの先生以外にも、声をかけられたりあいさつをされたりしたことがある。



「そう思う」が昨年より4ポイント増え85%、プラス評価全体は98%とたいへん高い評価です。「全児童を全職員で育てよう」という思いです。教室以外の場所でも職員と子どもがお互いに言葉をかけ合いの会話が交わされる学校でありたいと思います。担任以外の教職員にも子ども達が親近感を持って毎日安心して登校できればと思います。

20 学校は楽しい。



昨年とほぼ同様の評価です。家庭や地域にも楽しいことがたくさんあり、それはとても良いことだと思います。それでも学校でしか経験できないこともたくさんあると思います。学習を楽しめる授業を日々工夫しています。今後も子ども達とともに好ましい人間関係や楽しい学級づくりに努めていきます。